

介護サービスのお客様へ新たな“癒し”を 「ニチイのドッグセラピー」がスタート！

～心を癒やす希少犬種“オーストラリアン・ラブラドゥードル”を起用～



株式会社ニチイ学館(東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 寺田明彦、以下ニチイ)は、人の心を癒すセラピー犬として優れた資質を持つ犬種「オーストラリアン・ラブラドゥードル」によるドッグセラピーを全国のデイサービスやグループホームなどで順次開始します。

高齢になっても、自分らしい豊かな生活を送るために、介護現場では身体的ケアと同等に、お客様が日々の生活において「生きがい」や「やすらぎ」を実感できるような心のサポートが重要となっています。

ドッグセラピーはアニマルセラピーの代表格として 1970 年代から広く普及し始め、その効果には、リラックス状態を生む神経を刺激する“生理的効果”、「犬と散歩するためにリハビリに励もう」など動機づけとなる“心理的効果”、複数の人が犬の話題で話が盛り上がるといった“社会的効果”があるとされています。

ニチイでは、これまでも催し物やクラブ活動などを通し、お客様の生活の質(QOL)の向上に努めてまいりましたが、新たな心のケアとして「ドッグセラピー」を導入すべく、3 年前より独自のブリーディングシステムの確立や一部地域でのパイロット導入などに取り組んでまいりました。この度、一連のスキームが整ったことから本格的にサービス導入を開始いたします。

「ニチイのドッグセラピー」は、動物アレルギーを持った方の介助犬になることを目的に誕生した希少犬種「オーストラリアン・ラブラドゥードル」を起用し、デイサービスやグループホーム、有料老人ホームなどでレクリエーションや機能訓練の一環として実施するものです。ニチイの介護スタッフが飼い主兼ハンドラーとなり、セラピー犬とともに 6 カ月間のトレーニングを受講、ニチイ独自の認定基準をクリアしたのち、セラピー活動に従事します。日常的にお客様に接しているスタッフがハンドラーとなることで、個々の心身状態を考慮したセラピー活動が可能です。犬を“かわいがる”“一緒に遊ぶ”“世話をする”ことを通して、「生きがい」や「やすらぎ」を感じていただくとともに、犬を介した人と人とのコミュニケーションの活性化にも繋げ、お客様により充実した生活を送っていただけるよう働きかけてまいります。

また、将来的には介護サービスのみならず、保育サービスでの導入も検討する予定です。

ニチイでは、今後も身体的ケアだけに限らず、心のケアにも注力することで、お客様一人ひとりに寄り添った介護の実現を目指してまいります。

■「ニチイのドッグセラピー」概要

「ニチイのドッグセラピー」は、身体的・精神的なQOL向上を目的として実施されるAAA（動物介在活動）にあたります。集団で行うレクリエーションとしての導入のみならず、対象のお客様向けの個別導入（ケアプラン上の機能訓練としての位置付け）も行います。



【対象施設】 デイサービス(認知症対応型を含む)・グループホーム
・有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護

【対象者】 犬が好きな方やドッグセラピーによる効果が期待できる方 等

【実施方法】 適切な人員配置のもと、訓練を受けた介護スタッフ（ハンドラー）とニチイのセラピー犬で対象のお客様にサービスを実施。犬を「なでる」「抱く」などの他、「一緒に散歩する」「餌を与える」といった世話を行うことで「生きがい」「やりがい」を感じていただくプログラムを提供。

【プログラム】 集団で行うレクリエーションの他、特定のお客様に対し身体状況や趣向などを考慮したうえで、プログラムを設定。

プログラム例		期待できる効果		
		精神的安定	身体機能の維持・向上	社会参加
遊ぶ	呼び寄せる	○		○
	触れる・抱く	◎	◎	
	物を投げて取らせる	○	◎	
世話をする	散歩する	◎	◎	◎
	おやつを与える	○	○	◎

【お客様や現場スタッフの声】

デイサービスには週4回通っていますが、わんちゃんに会える日をいつも心待ちにしています！昔、自分も犬を飼っていてそのことを思い出しながら触れ合っています。これからも私の生きがいになってほしいです。（ニチイケアセンター—関 お客様）

セラピー犬が来た途端にお客様の表情が明るく変わるのには驚きです！特に認知症の方の穏やかな笑顔はベテランスタッフも舌を巻くほど！！（ニチイケアセンター—くるめ スタッフ）

■「オーストラリアン・ラブラドゥードル」とは

動物アレルギーを持つ人の介助犬になることを目的として、ラブラドールとプードルを主体に他4犬種を交配し、オーストラリアで生まれた犬種です。アレルギーを引き起こしにくい（アレルギーフレンドリー）、毛が抜けにくい、ニオイがほとんどしない、人なつっこい、頭が良い、といったソーシャルドック（介助犬や盲導犬等）として優れた資質を持っているのが特徴です。

そして、上記に加え、セラピー活動を行う上で目標とする基準に達成する率が高い・スピードが速い・性格が穏やかで他の犬との相性がよい等といった犬種特性から、「ニチイのドッグセラピー」で活躍するセラピー犬として起用しました。



詳細は以下のホームページでもご確認いただけます。

<http://www.nichiigakkan.co.jp/service/care/dogtherapy/>